

## 1. 活動報告（事務局 記）

—12月2日（日）15名の参加でした。

①エコアップ 湿地帯のスゲ草間引き・草原のクレーク雑草の除去  
溜池のイグサ・カヤツリクサ間引き

②維持管理 田んぼの荒起し準備 切わらのバラ撒き・もみ殻炭の散布  
水路U字溝の設置 600mm×8個=4,8 m

以上小雨交じりの中実施しました。

—12月7日（金）餅つきの準備をしました。

約2俵半のもち米は永山酒造さんの米洗い器にて行いました。テント3張り  
と餅揉み台乾燥台の作成に12名の参加を得まして10時半には準備が完了しました。

—12月8日（土）8時～11時、開会9時、片付後配布11時～12時30分

電気餅つき機3台とダイガラ臼にて約2俵半（153kg）のもち米を下記94名の参加者  
で搗き、楽しく収穫祭を祝いました。

来賓として 末次副市長・今川市民環境部長・白石同次長・JA山口宇部農協中戸常務・  
同笠井二俣瀬支店長 及び宇部市地球温暖化対策ネットより松井さんが参加されました。  
会員27名、親子自然観察隊（保護者9名含）25名、二俣瀬子ども会（父母7名含）26名、  
市民センター長、公民館長、事務局、地元会員奥さま5名、来客8名、総計94名  
宇部市環境政策課から会員として谷山課長・川崎課長補佐さん他大久保さん・山本さんも  
応援戴きました。

親子自然観察隊の解隊式も行い9回全ての行事に参加された3名の隊員に記念品が  
手渡れました。

—12月22日（土）収穫祭 Part-2「ハス堀」と忘年会を行いました。19名の参加で  
した。レンコンは意外と良くできていて、約30kgの収穫を得ました。皆さんで仲良く分  
配し、来る正月のおせち料理の材料となりました。その後、忘年会となりましたが、大量  
の猪肉での焼き肉と松本会員の手料理のアンコウ鍋、更には会長自慢の一等米での炊き込  
みご飯等食べこの一年間の活動の締めくくりを行いました。

## 2. 今後の予定（事務局 記）

◎見学者

— 現在のところ計画は有りません

◎行 事

—1月6日（日）正月休み

—1月19日（土）初集会（25年度活動予定打ち合わせ）

### 3. 来訪者の声

—今月はありません。

### 4. 会員の声 「今年の活動概要」 ( 田村 勝芳 記)

平成24年度の収穫祭を12月8日に会員、宇部市役所、農協の関係者他多数のみなさんの参加をして頂き実施することが出来ました。

今年はおもち米の収穫量も多く餅も沢山作ることが出来ました。餅つきに参加をした親子自然観察隊の子供達には10個入りのパックを配布しました。会員には会長が特別に袋入りの餅を今年の活動のお礼として配布され喜ばれました。

今年のビオトープの活動は山大生の寺本さん、平林さん、萩野さん等の若い会員が新しく増えて少し明るさが見えて来ました。また生物多様性保全活動の委員に関根先生、中本さんが市から選任されてビオトープ内でも勉強会が開催されました。

毎年実施される地球温暖化ネットワーク主催の亀浦公園での植樹祭は3月に開催されビオトープからも8名参加をしました。

毎月発行の会報も西原さん他の皆さんの協力で100号記念号から3年が過ぎて充実しています。特に自然観察隊の隊長の管さんのビオトープのトンボたちのシリーズは毎月美しい写真入りで会員を楽しませています。管さんは写真をフェイスブックにも沢山投稿していますのでパソコンで検索して見て下さい。

### 5. 親子自然観察隊 「収穫祭」「解隊式」 ( 管 哲郎 記)

お天気が心配され、にわか雨に一時降られましたが、会員の事前の対策により、まったく心配することもなく行事が進みました。小雪やミゾレも少し降りましたが、子供たちには全く影響なく、むしろ年末にふさわしい寒さとなり、逆におモチつきを盛り上げる効果となったようです。

今回は、会員の一部の方々に早出していただき、来賓の方々のお土産として隊員の手により収穫した杵つきモチをお渡しすることができました。ビオトープが今年より市の管轄下になり、市の関係者もゲストとして参加されます、隊員の仕事が増えますが、収穫の喜びを味わっていただくよい企画だと思いました！

2俵半(153kg)あったモチ米もすべておモチに変わり、ダイガラによるモチつきも隊員全員が経験して、予定通り収穫祭を終りました。田植え、稲刈りを1年間一緒に協力していただいた子供会の子供の代表者と会長さんからも、お礼のごあいさつをいただきました。

そのあと引き続き解隊式を行い、会長と隊長の最後の挨拶のあと、皆勤した隊員やジュニア隊員に記念品が授与され、隊員全員に観察隊の1年間の記録と写真記録が手渡され、解隊式を終りました。もちろん帰りには皆でつき作ったおモチが、会員と保護者全員に配られ、みんな笑顔で頂いて帰りました。

今年の観察隊も、多くの隊員たちの出席や会員の皆様のご協力で、無事、大きなケガや事故もなく収穫祭、解隊式を終えることができました、ありがとうございました！ご苦労様でした！



”ダイガラ”によるおモチつきも、全員体験しました。



みんなでおモチを丸めます、中にアンを入れ、あんモチの出来上がり！



解隊式は今井会長のあいさつで始まり、賞品やおモチをいただいて終わりました

## 11月24日の観察隊（里山の暮らし）の感想

### ★野田寿恵さん（お母さん）

昔の道具が大切に残され、使わせて頂いたことに驚きと感謝です。縄をない縄跳びをしていた姿も印象的でした。お好み焼きも素朴な味で何かジーンとくる感じでした。息子はもぎたての柿を皮ごとまるかじり。柿の皮って食べられたんですね！木に登り柿を落としてくださった光景を見るのも初めてでしたが懐かしくほほえましかったです。息子は柿あまり好きではないのですが、美味しかったって言っていました。新鮮な物は美味しいんですね。里山の写真を見せていただいて参加できなかったイベントに行きたかった...っと。毎回癒されています。ありがとうございました！

### ★ 山本将大くん

ダイガラつきは疲れたけど、その後にみんなで食べたお好み焼きはおいしかったです。

### ★ 山本将大くんのお母さん

ダイガラもそうですが、センバで脱穀など今は機械になっていますが、昔の方法が体験でき、大変勉強になると思います。今ではここでしか見られない農機具なので大変貴重な体験だと思っています。毎回、皆さんにはいつも維持活動等、非常に感謝しております。今年はあと1回となりましたが、美味しいお餅になっていることを期待しています。

### ★ 婦木義則くん

小麦粉を、実から作りました。何度も何度も石のすり器ですり、粉になったときはとても嬉しかったです。すった小麦粉でお好み焼きを焼いてくれました。とても美味しかったです。

### ★ 婦木菜々子さん

わらで縄を編みました。難しかったです。

### ★ 婦木貴子さん（お母さん）

たくさんの、昔使われていた農具を目にして驚きました。いかに楽に早くできるよう、昔の方達が考えて作られているのには感心しました。

### ★ 戸成晃大くん

稲からお米を取るのかおもしろかった。縄が強くて、縄跳びしたりできて楽しかった。また、バツタで魚釣りがしたいな。

### ★ 戸成典枝さん（お母さん）

お母さん同士、お喋りをしながら、わらで縄を編んでとても楽しかったです。以外と上手に出来て、私も嬉しいし、また、子供が縄を喜んで遊んでいる姿を見て面白かったです。今度、藁靴の作り方を是非教えて下さい。

親子自然観察隊に参加して、日頃体験出来ない事をさせて頂いてありがとうございます。子供も毎回参加を楽しみにしていました。また来年度もあれば、参加したいと思います。

### ★阿部真愉さん

石臼引きが何だかとてもすきでした。楽しかったので何度も石臼を回しました。

どの行事も楽しかったですが一番はトンボを捕まえた事です。来年も参加したいです。

★阿部訓子さん

里山の暮らしは去年と違う内容で新しい発見があって楽しかったです。私は行事の中で田植えが一番楽しかったです。来年は中学生になりますが 参加出来る時はビオトープに行きたいと思っています。

★阿部佳子さん（お母さん）

毎回親子で楽しく参加させていただいています。自然の四季の移り変わりを美味しい空気のなかで五感を通して体感出来る幸せを感じます。

★金子揮壱くん

だいがらで、もみをとるときに高さを調節するのが難しかったけど、楽しかった。いろいろなことが体験できてよかった。中学生になっても参加したいなと思っています。

★金子実侑さん

石うすで粉を引いたのがおもしろかった。お好み焼きもおいしかったです。観察隊での活動は全部楽しかったです。

★金子玲子さん（お母さん）

自分たちで自然体験をしようとする、つい天候のいい時を選びがちですが、観察隊に参加することで、天候の悪い時もあり、本当の自然を感じることができ、とてもよい体験でした。子ども3人を連れて参加を始めましたが、中学生になるとなかなか参加ができなくなってしまいます。とても残念に思いますが、小さいときに実体験したことはきっといつまでも心のどこかに残っているのではないかなと信じて、残る小学生の娘といろいろな自然体験をこれからもしていきたいと思います。

計画・準備をしてくださった会員の皆様にはとても感謝をしております。ありがとうございました。

年間を通しての感想

★佐藤広子さん（佑斗くんのお母さん）

お世話になっております。12/8は塾の講習が入っているので、欠席させて頂くようになります。最後に参加ができず、残念でした。

4月・5月と2回の参加のみでしたが、タラの芽を高い木の枝から切り取る、樺の花が食べられること、どれも同じに見えるカラスにハシブトカラスとハシボソカラスがいること等、知らないことをたくさん勉強させていただきました。

最近、街中のマンションから海の近くに引っ越ししたので、カラスとハトのほかにウミネコを毎日見ることができるようになりました。瀬戸内海は、朝・昼・夜 引き潮・満ち潮 それぞれの時間帯で景色を大きく変化させるので、とても綺麗だと思いました。今度は忙しいながらも自然を感じながら生活できそうです。

宇部市は、数十分車で移動すれば、山も海もあるので良いですね。

最後になりましたが、丁寧にメールをやり取りしていただき、ありがとうございました。大変お世話になりました。

## 6. ビオトープ関連（ビオトープのトンボたち）のシリーズを終了

（山口県に棲息するトンボたち）を予定（管哲郎記）

2008年（H. 20年）6月よりビオトープに棲息し見られたトンボ54種類の紹介を毎月1種類のシリーズでお伝えしてまいりましたが、2012年11月の会報第136号をもって54種類の紹介をすべて終了いたしました。貧弱な内容で物足らなさは否めませんでしたが、いくらかでも「トンボ」を知っていただく一助にでもなればと、未熟ながら投稿させていただきました、有難うございました。

「ビオトープのトンボたち」の評価は伺えませんが、厚かましくも来年1月よりさらにトンボシリーズとして、ビオトープの出来事を絡めながらの「山口県に棲息するトンボたち」の紹介をさせていただきたいと思っています。宜しくご愛読いただければ幸いです。

## 7. 会よりの連絡事項（事務局より）

12月11日に田んぼに約4トンの厩肥を宇部乗馬クラブよりに載せて、田んぼの入り口に山積みしています。害虫防除のため、寒い間に田んぼの荒耕しを行いますので、早めの厩肥分散が必要です。荒耕しは1月初めに依頼しておりますので、それまで何とかご協力をお願いするようになります。美味しいお餅をいただくにはこうして冬の間にも準備が必要であることを御理解下さい。

## 8. 編集後記

今月の16日に、今年最後の草抜き（エコアップ）をするため、ビオトープに行き来ました。当日は、作業をすると汗ばむような陽気です。陽気に誘われたのか、親子連れが一組、遊びに来ていました。エコアップをしていると、その都度、課題も見つかります。

この時期の湿地帯で目に付くのは、カヤネズミの巣です。作業範囲内で2箇所、観察道から見渡して3箇所、目に付いただけでも合計5箇所の巣がありました。詳細に調べれば、この倍はあるのではないのでしょうか。カヤネズミは春と秋に繁殖するので、これらの巣は繁殖したあとの抜け殻だと思います。ネットで調べると、カヤネズミの巣には繁殖用と休憩用の巣があると書いてありました。カヤネズミの赤ん坊は無理としても、巣の上で昼寝をしているカヤネズミを見てみたいものです。

カヤネズミを見るためには、春から秋にかけて、こっそりと活きている巣を探し出すしかないでしょう。その巣に向けて、定点カメラでも設置すれば活動の様子がわかるかも知れません。カヤネズミのことを思えば、エコアップの時期も考えなければなりません。春と秋の繁殖時期に、大掛かりなエコアップは避けるべきでしょう。悩みます。

来年に向けて、私の心の中でビオトープに対する課題が一つ増えました。私自身カヤネズミを見たことがありませんから、存在を確認することが第一です。植物と違って、人間を恐れ動き回っているから難しいと思いますが、会員のみならず、カヤネズミを見つけたらご一報ください。

（前田 歳朗 記）